



# 株式会社 雑穀米本舗 SDGs宣言書

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、  
事業活動を通じて地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めて参ります。

2022年8月16日

株式会社雑穀米本舗

代表取締役 加藤英祐

## ◆経営方針

持続可能な農産物を取り扱う地域に密着した社会を目指す。

## ◆目指す姿

1. 農産物の販売で地域活性化を支援
2. 雑穀米の販売を通して、人々の健康促進に寄与する。
3. 失業者のいない社会を作る。

## SDGsへの取り組み

### 多様な人材雇用と活力ある地域社会の実現

様々な性別、年齢、環境、をふまえて多様な人材が活躍できる環境の整備に努めます。

#### <具体的な取り組み>

産休・育休、健康診断はもちろんのこと、従業員が働きやすい環境を作っている。また子育てしながら働く女性が働きやすい勤務形態を推進している。

#### - 関連ゴール -



### 地域経済の活性化

事業活動を通じて地域経済の活性化や、活発な地域作りにも貢献します。

#### <具体的な取り組み>

年々減っている農家について減少化を止めるため、農家と1年ごとに契約を結んで生産ラインを確保し、また、他の作物の販売も請け負っている。

#### - 関連ゴール -



### 教育への貢献

積極的な講座等への参加を推奨することで自ら学び、行動できる豊かな社会の実現に寄与します。

#### <具体的な取り組み>

知識を活用し、一度の食事で様々な栄養素を採ることができる雑穀米の販売や、管理栄養士によるレシピの考案などを通じて雑穀米を様々な形で食べてもらい、人々の健康を促進する。

#### - 関連ゴール -



### 食品ロス・資材ロス削減・食品リサイクル

事業を通じて食品ロス・資材ロス削減を行い、リサイクルグループの実現に貢献します。

#### <具体的な取り組み>

雑考米として販売できないものはお菓子などの材料や、動物用の餌にするなどして、廃棄部分がなくなるように取り組んでいる。配送時には納品書を入れず電子化することで、ペーパーレス化へも取り組んでいる。在庫を抱えた他企業の経営コンサルティングを行い、売り上げを大きくすることで、商品在庫を少なくし、廃棄物削減に貢献している。

#### - 関連ゴール -



#### 持続可能な開発目標(SDGs)とは、

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、政府、企業、地域社会のあらゆる人が取り組んでいます。